

NetWyvern Super DHCP による全社統合管理

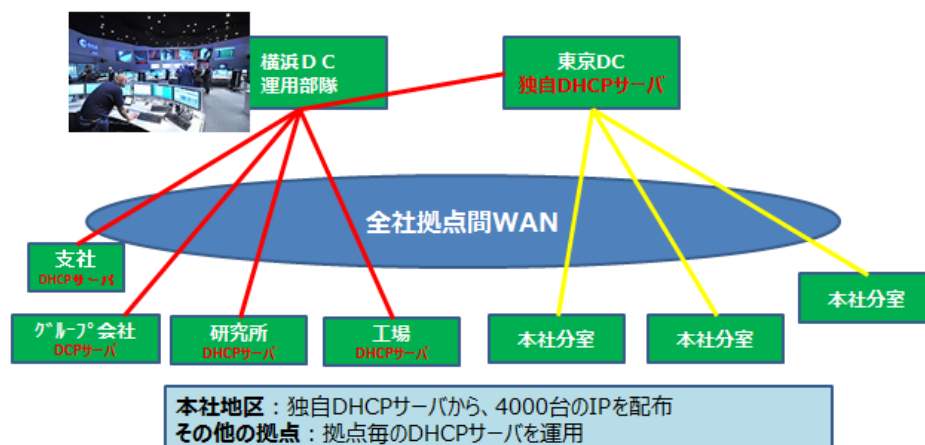
◇本事例のユーザー

- ・ 化学業界の製造業様で一部上場企業
- ・ 全社で従業員規模 3 万人以上で DHCP による IP アドレス配布 10,000IP 以上
- ・ 国内の拠点数 100 拠点以上

◇導入の背景

全社の社内 IP 網では、許可された端末にのみ IP アドレスを DHCP で配布する厳格な運用を行っていたが、以下のような課題を抱えていた。

- ・ IPアドレスの全社管理と配布対応をネットワーク運用部隊で統合的に行っていたが、拠点毎に異なる DHCP システムで運用しており、運用の工数負荷が極めて高い状況であった。
- ・ 拠点毎に利用端末を登録していたため、異動や出張の度に端末の申請と登録が必要で運用部隊とユーザーの両方に IP アドレス対応の手間が発生した。
- ・ 組織変更の度に拠点の DHCP システムの登録容量の超過による障害が頻発し、ネットワーク運用の作業負荷が限界であった。



◇導入の狙い

現状のセキュリティレベルを維持しながら、運用負荷をユーザーとネットワーク運用部隊の双方で軽減することを目的にしながら、次のようなメリットを達成することを狙いとした。

- ✓ 国内の事業所などどこでも自分の会社配布端末が使用でき業務効率のさらなる向上とワークスタイルの進化をはかる。
- ✓ BCP(事業継続性)の強化を視野に拠点間冗長化の増大を目指す
- ✓ DHCP の運用負荷の軽減と安定性の向上をはかる

◇導入の要件

- 回線の集中回避、DHCP サーバへの集中回避のため横浜 DC・東京 DC 間で Active - Active の拠点間冗長化ができること。
- IP アドレスと端末の登録が 3 万規模の容量を持つこと
- 登録する端末情報を CSV ファイルにより、簡単な操作で登録や削除を容易に行えること

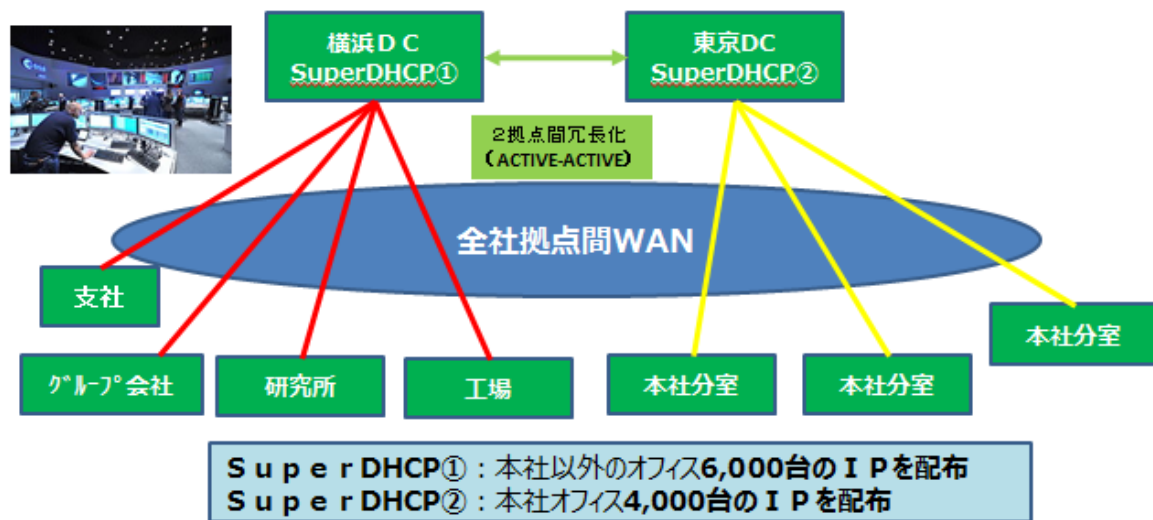
◇SuperDHCP の選定理由

要件を元に I 社、S 社の同様な製品と比較したところ以下の点で、アヴェイルテクノロジーの提案する NetWyvern SuperDHCP が選定された。

- 管理サーバ不要で、拠点に 1 台ずつの配備により拠点間冗長化が可能である。
- 一つのフィルターへの登録により、全社で共通の端末登録が可能であった。
- 端末登録を簡易的に行う登録用アプリケーションを含めても、コストが安価であった。

以上により、NetWyvern SuperDHCP の導入が決定された。

◇導入構成



◇導入後の効果

東京と横浜の DC に配備した SuperDHCP を運用部隊が遠隔で運用を行った結果

- ✓ 社内の別拠点へ出張でも、特別な申請なしに現地でメールの送受信や資料の作成ができるようになり確実にワークスタイルの変革が進化した。
- ✓ 運用開始 1 年間で操作ミスを含めた障害はなく、運用部隊の DHCP 関連の負荷は激減した。
- ✓ ユーザー部門からの端末登録の申請から登録完了までの期間が 1 週間から 3 日間に短縮された。
端末の更改による一斉リブレースでも CSV ファイルによる流し込みで、特別なリードタイム無く処理ができるようになった。

◇導入後の課題

- ✧ メーカーの保守期間が 5 年までしかなく、通信機器のリース期間 6 年に対して 1 年分不足しており、一般の保守期間と合わない。
※ 本ご要望に対応して NetRegion、NetNebulas シリーズでは、初年度一括申し込みの 6 年一括保守、7 年一括保守のパッケージを用意いたしました。
- ✧ グローバル化で海外の拠点に対して対応したい場合に、そぐわない。
海外でも対応できるよう保守を含めたグローバル化を今後検討してもらいたい。